

**在スロバキア日本国大使館**  
**政治・経済月報（2021年2月）**

目 次

<b>新型コロナウイルス</b>	
◆ 2月28日現在の感染情報等	2
◆ 英国型変異株スクリーニング検査の結果	2
◆ 2月8日以降の緊急事態宣言延長及び外出禁止令の強化	2
◆ 2月17日以降の検疫措置強化	3
◆ ワクチン接種フェーズの変更	3
◆ 死者数・入院者の増加	4
◆ 3月3日以降の外出禁止令強化	5
<b>内 政</b>	
◆ 政党支持率調査結果	5
<b>外 政</b>	
◆ マトヴィチ首相の「17+1」首脳会合出席	6
◆ ヴィシェグラード・グループ（V4）発足30周年	6
<b>経 済</b>	
◆ 欧州委員会による「欧州電池イノベーション」の承認	8
◆ Eustream 社の水素輸送への関心	8
◆ 2020年のパンデミック関連支援額	8

別添：主要経済指標

※ 本報は公開情報を在スロバキア日本国大使館がとりまとめたものです。

## 新型コロナウイルス

### ◆2月28日現在の感染情報等

- (1) 2月のPCR検査に基づく新規感染者数は5万8568名（1月は6万5849名）、2月の死者数は2559名（1月は2461名）。
- (2) 2月28日時点のPCR検査に基づく累積感染者数は30万8925名（前日比+842名）。2月28日の検査数は3565件。同日までの累積検査数は205万136件。
- (3) 2月28日時点の累積死者数7270名（前日比+81名）。
- (4) 2月28日時点の累積ワクチン接種者数（1回目）は30万5832名（前日比+1480名）、同（2回目）は13万3389名（前日比+0名）。

### ◆英国型変異株スクリーニング検査の結果（保健省発表）

2月以降、スロバキアにおける英国型変異株（B.1.1.7）スクリーニング検査が3回実施された。同検査では、スパイクタンパク質d69/70及びY144を検出できるスロバキアMultiplex DX社の検査キットが使用された（注：ゲノム解析に基づく調査結果ではない）。各回の検査結果は以下のとおり。

- (1) 2月3日の陽性サンプル1962件のうち74%から英国型変異株を確認（2月5日発表）。
- (2) 2月15日の陽性サンプル2384件のうち72%から英国型変異株を確認（2月19日発表）
- (3) 3月3日の陽性サンプル2198件のうち90%から英国型変異株を確認（3月9日発表）。

### ◆2月8日以降の緊急事態宣言延長及び外出禁止令の強化（2月5日付政府布告）

2月8日から40日間（3月19日まで）、全国で緊急事態宣言を延長する。また、2月8日から3月19日まで、全国で外出禁止令が強化される。各郡の感染状況に応じて、通勤等の際に陰性証明書等が必要となる。郡別の感染状況レベルは毎週更新される。

- (1) 警報レベル3及び4の郡：通勤の際に、7日以内に発行されたPCR検査若しくは抗原検査の陰性証明書が必要。
- (2) 警報レベル2の郡：通勤の際に、14日以内に発行されたPCR検査若しくは抗原検査の陰性証明書が必要。
- (3) 警報レベル1の郡：通勤の際に、21日以内に発行されたPCR検査若しくは抗原検査の陰性証明書が必要。

#### ◆2月17日以降の検疫措置強化（2月12日付公衆衛生局布告）

1 2月17日午前6時以降、EU加盟国、アイスランド、ノルウェー、リヒテンシュタイン、スイス、又は英国に直近14日間に滞在していた者がスロバキアに入国する場合、以下のいずれかが義務付けられる。

（1）入国後8日経過してからのPCR検査の実施及び陰性結果が出るまでの自主隔離。10歳未満の子供は、感染症状が無い場合、（PCR検査を受けずに）同居する者の陰性結果が出るまで自主隔離。

（2）感染症状が無い場合、（PCR検査を受けずに）入国後に14日間の自主隔離。

2 2月17日午前6時以降、上記1に掲載されていない国（日本を含む）に直近14日間に滞在していた者がスロバキアに入国する場合、入国後8日経過してからのPCR検査の実施及び陰性結果が出るまでの自主隔離が義務付けられる。10歳未満の子供は、感染症状が無い場合、（PCR検査を受けずに）同居する者の陰性結果が出るまで自主隔離。

3 上記1及び2に該当する者と同居する者も同様に、同期間の自主隔離が義務付けられる。

4 上記1及び2に該当する者（日本からの入国者を含む）は、以下の措置も義務付けられる。

（1）スロバキア入国前に、所定の政府ウェブサイト

（<http://korona.gov.sk/ehranica>）に登録。

（2）自主隔離の実施について、入国（帰国）後遅滞なく電話又はメールでかかりつけの医師に報告。かかりつけの医師がスロバキアにいない者は、各県の地元の医師に報告。

（3）空路でスロバキアに入国する者は、所定の交通・建設省ウェブサイト（<https://www.mindop.sk/covid/forms/edit/bac6d2a7a9eaecf022236a0e741185a0a1e2>）にも登録。

#### ◆ワクチン接種フェーズの変更

##### 【2月13日以降の変更（16日付保健省週報）】

2月13日、ワクチン優先接種フェーズが変更され、教員及び主要インフラ従事者に対する優先接種（第4及び第5フェーズ）が開始された。

第1フェーズ：医療従事者（研修中に患者と接する医学部生も含む）、社会福祉施設職員等

- 第2フェーズ：85歳以上の者
- 第3フェーズ：75歳以上の者
- 第4フェーズ：教員
- 第5フェーズ：主要インフラ従事者
- 第6フェーズ：重度の病人
- 第7フェーズ：中度の病人
- 第8フェーズ：65歳以上の者
- 第9フェーズ：55歳以上の者
- 第10フェーズ：45歳以上の者
- 第11フェーズ：18歳以上の者

### 【3月8日以降の変更（3月5日付保健省布告）】

3月5日、保健省は、3月8日以降のワクチン優先接種フェーズの変更を決定した。現在は、60歳以上の者に対する優先接種（第4フェーズ）が行われている。

第1フェーズ：医療従事者（研修中に患者と接する医学部生も含む）、社会福祉施設職員等

- 第2フェーズ：85歳以上の者
- 第3フェーズ：70歳以上の者
- 第4フェーズ：60歳以上の者
- 第5フェーズ：55歳以上の者
- 第6フェーズ：50歳以上の者
- 第7フェーズ：45歳以上の者
- 第8フェーズ：40歳以上の者
- 第9フェーズ：35歳以上の者
- 第10フェーズ：30歳以上の者
- 第11フェーズ：18歳以上の者

各フェーズにおける余剰ワクチンは、病人、50歳以上の公共交通機関職員、50歳以上の接客業従事者等に接種される。

### ◆死者数・入院者の増加

英オックスフォード大学の研究者が運営する統計サイト「Our World in Data」によれば、2月13日、スロバキアは、人口100万人以上の国の中で、人口100万人あたりの直近7日間平均死者数が17.71人で世界ワースト1位になった。2月28日現在の同死者数は17.90人であり、依然として世界ワースト1位である。

同サイトによれば、2月9日現在、スロバキアの人口100万人あたりの入院者数は643名で、EU内で最多である。2月28日現在の同入院者数は697名であり、チェコと同率で世界ワースト1位である。スロバキア政府発表によれば、2月28日現在の入院者数は4008名（前日比+103名）。

スロバキア統計局によると、2020年のスロバキアの総死者数は、第二次世界大戦後最多となる5万9000人であり、過去5年間の平均よりも11%多かった。

#### ◆3月3日以降の外出禁止令強化（2月28日付政府布告）

2月8日から3月19日まで、全国で外出禁止令が更に強化される。例外事項のために外出可能な時間が、午前5時～翌午前1時から、午前5時～午後8時に原則短縮される。

在宅勤務ができない場合の通勤は引き続き認められるが、当局者の求めに応じ、これまでの陰性証明に加え、業務時間及び場所を記載した雇用者の発行する証明書を提示する必要がある。

自然の中での滞在及び個人スポーツ目的で、居住郡外へ移動することが禁止される。

### 内 政

#### ◆政党支持率調査結果（3月1日）

世論調査機関Focusによる政党支持率調査の結果は以下のとおり。2020年2月総選挙の連立政権4党の合計得票率（45.2%）と比較し、同4党の合計支持率は33.7%まで減少している。

政党	Focus	2020年選挙
Hlas-SD（声・社会民主主義）	23.0%	—
SaS（自由と連帯）	12.9%	6.22%
OLaNO（普通の人々・独立した人達）	10.4%	25.02%
Smer-SD（方向・社会民主主義）	9.2%	18.29%
PS（プログレッシブ・スロバキア）	6.7%	※6.96%
LSNS（我々のスロバキア）	6.6%	7.97%
Sme rodina（我々は家族）	5.2%	8.24%
Za ludi（人々のために）	5.2%	5.77%

※PS/Spoluとしての得票率。PSは、2020年国会総選挙にSpolu(共に)と政党連合を形成して参加した。

## 外 政

### ◆マトヴィチ首相の「17+1」首脳会合出席（2月9日付首相府プレスリリース）

2月9日、習近平国家主席主催による第9回「17+1」首脳会合がオンライン形式で行われ、スロバキアからはマトヴィチ首相が出席した。マトヴィチ首相は、中国による国際的なワクチン供給への貢献を歓迎し、また、中国が気候中立経済の達成目標を決定したことを評価した。

マトヴィチ首相は、「同会合は、我々の協力の柱であるEU・中国関係を補完するものであり、EUと中国の対話に強固に基づくものであると認識している」と述べた。スロバキアにとって特に重要な協力分野は、貨物列車輸送等のインフラであり、次いで、科学、研究、イノベーションである。また、スロバキアは、他の中東欧諸国同様、農産物の輸出も重視している。マトヴィチ首相は、「（中国とは）歴史、伝統、価値、立場は異なるが、オープンな思考で協力を進めていく」と述べた。

同会合では、多国間主義に基づく協力への関心が確認された。また、食品産業及び農業等に関連する商品・サービスのオープンで差別のない形での中国市場へのアクセスについて集中的に議論された。

同会合では、「中国と中東欧諸国の協力に関する北京行動計画」文書が採択された。また、同会合に関連し、スロバキア産羊肉等の中国への輸出を可能とする議定書が署名された。2021年は、中国と中東欧諸国の農業多様性協力年である。

### ◆ヴィシェグラード・グループ（V4）発足30周年

#### 【チャプトヴァー大統領のV4大統領会合出席（2月10日付大統領府プレスリリース）】

2月9～10日、チャプトヴァー大統領は、ポーランドで行われたV4大統領会合に出席した。V4各国大統領は、2月15日にV4発足30周年を迎えることに関連し、これまでのV4協力及びパンデミック後のV4協力の展望について話し合った。

チャプトヴァー大統領は、民主主義の構築、自由主義の発展、欧州統合への回帰等のV4発足当初の目標は既に達成された旨指摘し、今後は新たな共通目標を模索することができるとの認識を示した。またチャプトヴァー大統領は、「スロバキアにとって、欧州統合の中心に留まることは戦略的に重要である。V4が親欧州路線を維持し、建設的な意見を共に提供し続けることに賛同する」と述べるとともに、「合意できる分野については協力を促進するが、V4各国の違いについても尊重する。我々が協力できる余地は多く残されている。

地域間協力を拡大し、人的、経済的な結びつきを強め、インフラ整備を進めていく」と付言した。

**【スロバキア外務・欧州問題省によるV4発足30周年記念ステートメント（2月15日付外務・欧州問題省プレスリリース）】**

2月15日、我々は、ヴィシェグラード協力の発足30周年を記念する。ハヴェル・チェコスロバキア大統領、ヴァウエンサ・ポーランド大統領及びアンタル・ハンガリー首相は、1991年2月、ハンガリーのヴィシェグラードにおいて、欧州統合に向けた努力への協力に関する共同宣言を採択した。チェコスロバキアの分離後、ヴィシェグラード協力は現在のV4の形に移行した。当初、同協力は、共同で「欧州に回帰」する上での相互支援及び欧州の政治、経済、安全保障及び法制度への完全な関与に専念していた。

欧州の目的及び欧州・北大西洋統合の目的が達成された後も、V4は地域協力の重要なフォーマットの1つのままであり、現在まで、多くの分野においてスロバキアと3つの隣国との協力のための空間を創造し続けている。

スロバキアは、V4が地域協力の重要な枠組みになると考えており、V4における活動的なメンバーであり続ける。我々の活動の主な基準は、スロバキアの利益促進及びEU内での共同解決へのV4の貢献であろう。

**【マトヴィチ首相のV4首脳会合出席（2月17日付首相府プレスリリース）】**

2月17日、マトヴィチ首相は、ポーランドのクラクフで行われたV4発足30周年記念首脳会合に出席し、パンデミック対策やEU域外の国々との関係等、欧州の課題について話し合った。同会合には、ミシェル欧州理事会議長も出席した。

マトヴィチ首相は、「V4協力は不可欠なものとなっている。EUにおける共通の解決策と立場を模索することがV4の目的であり、全てのEU加盟国のために働くことが我々の役割である」と述べた。また、マトヴィチ首相は、1990年代後半、スロバキアのEU加盟への道は困難であった旨述べるとともに、スロバキアのEU統合に対する当時のV4諸国の支持に対して謝意を表明した。

（当館注：2月15日、日本の茂木外務大臣はV4発足30周年に関するV4各国外相宛祝辞を発出した。

[https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4\\_008964.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_008964.html)）

## 経 済

### ◆欧州委員会による「欧州電池イノベーション」の承認（2月4日付経済新聞）

1月26日、欧州委員会は、スロバキアを含むEU12か国を対象とする電気自動車（EV）用電池研究開発プロジェクト「欧州電池イノベーション（European Battery Innovation）」を承認した。これに伴い、同プロジェクト対象国の政府は、EV用電池の開発等に携わる企業に対して、総額29億ユーロの補助金を提供できるようになる。シェフチョヴィチ欧州委員会副委員長（スロバキア出身）は、「同プロジェクトが契機となり、新たに90億ユーロの民間投資も呼び込むことができると予測している」と述べた。同プロジェクトは、2025年までにEUにおけるEV用電池供給体制を構築することを目的としている。

スロバキアでは、Energo-Aqua社、ZTS-VaV社、InoBat社が、同プロジェクトの対象となっている。Energo-Aqua社は当紙に対し、「当社のプロジェクトは、電池電力貯蔵システムの研究開発であり、投資額は4030万ユーロになると見積もっている。電池電力貯蔵システムの研究は、再生可能エネルギーの研究にも間接的に寄与することになる」とコメントした。ZTS-VaV社は、電力貯蔵及びリサイクルの研究開発に取り組んでいる。

InoBat社は、スロバキアでEV用電池の生産を計画している唯一の企業である。同社の取締役のクロコシュ氏は、「当社は、EV用電池の研究開発の他、電力貯蔵センター設立に向けた技術開発にも取り組んでいる」と述べた。

### ◆2020年のパンデミック関連支援額（2月23日付 Symsite）

財政政策研究所（IFP。財務省管轄）の推定によると、2020年に政府が提供したパンデミック関連支援額は約46億ユーロ（GDPの5.1%に相当）であった。項目別の支援額は以下のとおり。

- （1）企業への補助金支給、社会保障費支給等：約13億ユーロ
- （2）政府による銀行保証：約10億ユーロ
- （3）銀行ローン支払い延期：約7億ユーロ
- （4）納税申告延期：約5億ユーロ
- （5）地方自治体及び国営保健企業への貸付、補助金提供：約5億ユーロ
- （6）医療従事者へのボーナス支給：約3億ユーロ
- （7）その他：約4億ユーロ

### ◆Eustream 社の水素輸送への関心（2月25日付経済新聞）

スロバキアのガス輸送企業Eustream社のニューコヴィツィ・ジェネラル・マネ



ージャーは、「EUにおける水素利用を促進したい。Eustream社は、ガスパイプラインを用いた水素輸送の可能性について、数年以内に調査する予定である」と述べた。

EUは、ウクライナにおけるグリーン水素の生産にも関心を有している。Eustream社は、スロバキアを経由するパイプラインを用いて、ウクライナ方面から送られてくる天然ガスを西欧諸国に輸送している。 (了)

# スロバキア主要経済指標

(出典:スロバキア統計局)

